

「政策課題の整理」の概要

食料の安定供給の確保

食の安全・安心の確保

食の安全と消費者の信頼確保

- ・食品の安全性の向上
- ・食品供給行程における取組の拡大
(GAP, HACCP, トレーサビリティの取組拡大)
- ・食品に対する消費者の信頼確保
(加工食品の原料原産地表示の拡大)
- ・動植物輸入検疫・防除・防疫体制の強化

農業の6次産業化を支える食と農の連携

- ・食育、地産地消、農商工連携の推進
- ・食品産業の機能・体質強化、海外展開の推進
- ・食料自給率向上に向けた国民運動の展開

食料の安定供給

国際的な食料需給の ひっ迫要因の顕在化を踏まえた対応

- ・フードチェーンの各段階におけるリスクへの対応
- ・海外農業投資の促進
- ・世界の食料安全保障への貢献
- ・肥料の安定供給と効率利用

農業の持続的発展

戸別所得補償制度の導入

販売価格と生産費の 差額を基本とする所得 補償の仕組みの創設

- ・主要農産物の販売価格が
生産費を下回る場合にそ
の差額を補てんすること
を基本とする仕組みを検討

売れる農業・ 儲かる農業の推進

- ・生産・加工・流通の一体化
- ・販売価格向上
- ・販売量増大
(加工・業務用対応、輸出拡大)
- ・コスト縮減
(資材効率利用、流通コスト縮減)

持続可能な農業生産を 支える取組

- ・環境保全型農業の推進
- ・地球温暖化対策や生物多
様性保全に対応した農業
生産の推進

多様な農業経営体・ 農地の確保等を通じた 生産性の向上

- ・新規参入の促進、経営発展
- ・新しい農地制度の着実な推進
- ・耕作放棄地の発生抑制・解消に
向けた取組の推進
- ・農業生産基盤の整備

農業の6次産業化

農村の振興

農業・農村の6次産業化

2次・3次産業との融合による農村の6次産業化

- ・バイオマス等を基軸とした地域イノベーションの誘発
- ・地域内発型地場産業の振興
- ・就業機会の拡大
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・都市と農村の新たな交流の促進
- ・都市農業の振興、市民農園の促進

多面的機能を有する農村の再生

集落機能の維持と地域資源・環境の保全

- ・生活支援、環境保全等に取り組む法人への支援
- ・中山間地域等直接支払制度の継続・拡充
- ・農地・水・環境保全向上対策の検証
- ・集落基盤の整備、災害に強い農村づくり
- ・秩序ある土地利用
- ・鳥獣被害対策の推進

農山漁村活性化ビジョンの策定

食料自給率目標の設定

- ・具体的目標の設定
(戸別所得補償制度など各種施
策の見直しの中で、具体的な目
標水準の設定)

- ・指標性を高める補完的指標の整備
(国民理解の醸成
生産額ベース食料自給率の積極的活用
農業生産力に関する指標の検討)

食料自給率の向上

技術の革新的な向上と地球環境問題等への貢献

- ・変革を実現するための「技術・環境総合戦略(仮称)」の策定
- ・技術革新による産業構造の変革
(研究開発から普及・産業化までの一貫した支援
イノベーションの推進、新たな産学官連携の枠組みの構築)
- ・地球環境問題等への積極的貢献
(バイオマス等の供給、農業分野の排出削減の加速化)

「農」を中心とする 多様な連携軸の構築と絆の強化

- ・「農」を中心とする多様な連携軸の構築
(人材の育成・確保
連携に取り組む関係者への支援)
- ・連携の絆を確かなものとするための活動支援
(食と農の現状や魅力を発信する活動への支援
農と関わりを求める若者等新たなパワーの周知と支援)

施策の総合的・計画的な推進に必要な 総論的事項

- ・基本的かつ長期的な目標や原則等の明確化
- ・施策の重点化・統合化と実施手続き簡素化の推進
- ・国民的議論の喚起とその成果の施策検討への反映
- ・施策の企画・立案過程における透明性の確保
- ・施策のPR徹底と現場浸透のための情報提供ツールの強化